慶應義塾大学学術情報リポジトリ

Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	社会政策の原理 : Pigou, The economics of welfareを読む
Sub Title	
Author	小泉, 信三
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1923
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.17, No.10 (1923. 12) ,p.1633(23)- 1665(55)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	論説
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19231214-0023

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって 保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

多 0 こそ、正 13 6 0 7 政 策 12 12 ح v ~ 0) 3 2 3 る す 0) ح 於 Z て、旣 第十號 ^ 0 は、盆 E る。 理 然ら 17 論 僨 14 從來 滅 基 す 不 4 金 僋 後 Æ.

策 0 原 理

Pigou, The Economics of Welfare を讀 t

泉 信

子、地 0 \$ 3 る 交 は 换 共 H 交 利 0 0) 行 如 諭地 3 は 汀 33 (1次三四) か は 間 Ŀ 10 は 質 ج は、未 0 12 高 بح 於 低 祉 交 か 3 質は け 智 R 會 12 交 詳 交 3 拘 及 的 び 5 縱 之 43 交 濟 現 の 社會政策の原理 换 率 依 ·\$. 生 交 で 賃 活 で 比 理 る 2 τ る T 此 τ È É 0 爲 衍 ľİ 好 0 بح T め 17 τ 0) 分分 影 背 Ŀ 3 如 先 俟 配 何 後 **~**)* 12 13 12 第十號 は 3 Λ で 换 ረ 何 0) は 籖 から 比 民 目 あ 55) 脏 存 す は、僧格、利 必 せ 牽 ع VC 要を有 53 會)經 3 p す 脥 が、伽 論ず K 3 ず 1: \ 2 る

0 10

3 ¥ 3 3 方 對 25 ば 法 Z 45 13 0) な n ح 於 ح 5 L す بح 吾 朝 智 T な 交 Ø で 12 3 子 4 何 は H 7 换 ح は τ 4 见 帽 别 0 す 3 必 營 אלם י 12 £ ኟ 12 る ŧ 元 0 す 13 な Ž 生: B る 約 事 ~ 5 科 5 n 语 3 > 束 ば、今 ک 3 n 0 Č 5 言 0) r 0 0) 其 窟 ٤ ځ Z あ 生 纤 0) 0 m r ح H は £ 3 當 活 1: C め 許 0 樹 ろ 敢 ۲ 或 否 は 經 τ 3 邓. で τ 生 E E 交 0 妓 す 濟 8 活 妨 は 爭 す 現 換 12 3 制 13 \$ 生 太 3 象 外 \$115 所 لح 望 度 El 13 あ B 惧 ح 謂 E 依 0 6.5 1 主 1) 0 لح D: 0) て、そ 他 人 ል 下 張 で あ 方 と 12 併 は す る 何 12 生 於 17 13 n 13 0) 25 活 充 於 7 1 經 V が 6 D) 以 分 T 0 lå 濟 充 6 T は £ 交 學 0 ば 分 12 2, 交 其 方 理 n 换 から な 吾 3 3 0 3 交 H 行 曲 3 Λ b 0) 現 换 人 ど ٣ 程、 **B** 0 濟 0 有 あ 在 必 間 を I!! 啣 で 0 る 蟆 生 通 L 法 あ 間 名 ح خ 存 又 勞 0 حح 活 U 0) 濟 的 る Ŀ は 働 0) 0) τ 腳 考 冠 Ŀ 儜 す 力 あ C が す Ī 目 及 万 る 交 \$ な 0) る £ 撆 3 ጀ 산 C が 2 间 12 换 V 對 岩 بح

的 ፠ 3 111 生 往 活 1-0 何 0 0 蓄 あ 3 3 Mi th. 得 で 5 題 n 13 べ あ 12 \$ で 3 兎に < 3 ð 义 此 勞 3 13 殉 生 此 活 0) 私 pr 0 0 id. 3 果 生 經 ~ 活 ح D) 12 濟 E 0) 5 世 生 3 活 以 現 h 3 1: 7 y ځ 有》 Č す 界 3 重 C る 0) ~ で ح ر پ 3 É > あ مح b 3 此 は 0 12 交 生 對 で 换 活 あ 面 ¥ す 0) 3 有 對 3 か 無交 象 否 حح لح D) 换 す は 3 る 比 深 12 恋 生 系 < -\$." 0) 爭

ч で 5 τ は 第十七 ď 主 せ 7 試 3 は E 5 全 0 孙 17 然 n 如 77 τ 7 Z 3 除 (一六三五) は 篴 2 價 4 ح 值 حح τ 少 來 p; 其 は、 8 僧 6 0 格 認 木 0) 0 眼 n 则 8 利 E 12 0 لح 5 局 交 潤 0 n す 消 换 地 7 1-代 會 3 m 費 行 は から L 程 曾政策の原理 17 者 賃 な 7. τ 鈒 0 换 此 手 0 0 Ø 如 例 面 全 13 到 \$ 12 し ^ 0 交 ٤ 行 達 7 ば 程 換 す 毠 行 Adam ろ は 會 3 0 は 程 で 今 溢 自 1 閑 於 日 0 然 Ŀ 却 Smith 3 0) 全 16 C D 少 劜 旭 行 P 5 ア は 亦 會 程 採 3 n St. 蚁 諸 17 8 國 12 第十號 於 包 生 現 ム 富 죓 括 産 ス 7 諭 13 は 的 製 E 3 行 第 あ ス 交 12 造 論 は ----繑 0) 换 C n 二进 12 智 3 棚 5 12 通 \$ 於 n

段を、先 る 智 が賣 3 3 づ 以 孤立 > 生 論三田 邌 τ 買 E 13 る 仝 る か(三)如 手 得 E τ ષ્ટ 3 す な 段 3 る を 水に 何 ح 郥 艞 資 C 12 念 本 濟(分 就 L T 時 τ 如 3 0) 0 τ 7 に他 とは、 行 分 私 此 發 12 13 は 業 有 綖 理 1: 土 生 3 方 同 經 濟)で な' E し、如 自 17 地 3 叨 7 係 於て、資 資 5 12 は、現 r 生 家 答 本 分 = V. 0 產 2 あ 行 0 水 私 12 τ 法 Ź 9 $\cdot \mathcal{C}$ 當 12 か とに 有 參 ع て、彼 E 0) 3 43 加 後 め 0 6 14 せざ (Kapital 72 τ n す ٤ る E ち 何 12 る Ŀ 3 立. 土 か(三)如 示 士 ح 地 拘 n 0 0) L 3 地 叉 並 は Das ろ τ ず、常 K 經 段 3 太 資 濟 1-水 發 12 Circulation 财 72 7 私 達 同 有 Ø 二六 の生 て補 は、そ 有者 15 私 0) Ø み る

分

9

は

ځ 祉 會 主 Ħ. 頁

A.

大 C 閑 n Fi. 包 3 せ 3 0) 5 T 百 ず す + ばの づ r E \mathcal{C} 3 T. 面 τ * 行 田 7 r 12 3 そ 濟 0) 士 Pigou 學 的 書 福 9 0 H 12 The 0) 12 で 何 Economics of Welfare 1920 あ 12 す 3 3 生 營 D) 活 0 尘 ? 爲 economic welfare) の る 態 0 め > 如 樣 1: 經 0 何 を 交 煥 な 觀 生 め 機 る 祭 活(假 15 原 せ 2, p; 今 12 U る 因 夓 は r 9

τ 第十七卷 17 Tz の 依 0) T 要、其 知 貂 (一六三七) 5 彼 法 n n 對象に就ては、彼 は、既 10 τ 從へ 居 12 る 本 ば、經濟學者 通 書 り、殆ど 0 基 n 礎 pedantic は實用を ዾ は な 知 2 識 た ح 主に 0 밫 爲 舊 して、必 L め 業 て 好 に知識を Wealth and 6. しも 程 緻密を 求 Welfare 粹 めるも 論 極 理 め の で 0 C 嚴 CK はな 居 るが、 を水 0

75 で بح T て居 ある」(p. 者 的 處 난 なく 方策 で 0) 0 ч る 會 度を 業作 る。 之 婢 は 生 ľİ 改 て、意識 僕 を 活 Comte 言 良 10)° IJ 0 たること 0) 0 Ø 上に τ そ 歡 72 H 狀 n 喜 す 0 Pigou 定 態 滙 は る な 0) 是で す 12 0 0 É 3 み 智 研 r 0) から ある」」(P. 0 ধ 抑 築 明者 乳 包 9 ح 0 Z Ŀ 體 で τ ક < E 見て 0 何 あ ~ Marconi 5)「故に る 分 3 る。 は 3 12 \$ たる る 質 懫 3 ż ど、及 **%** 0) 0 際 3 日 於 な は 福 的 志 く写吾 智 0 Hertz す ち 方策 び す 0 Pigou 經 福 Ŀ Ø) ح 第 等 ረ 祉に 쬵 全 ۲ 異 0) 15 3 之を 梦 ч 發 ろ で 以 E 福 で 居 見 0 で な 說 τ す は 大 ···· 0) 目 r る 層 C な 30 则 標 12 <u>.</u>E 7 は 適す 容 示 あ あ は、脳 h 世 12 哲 Ġ ずた て、そ るこ C 3 易 す 學の 3 ざる が、此 τ 13 3 V 居 0 ح 2 72 b B る 值 髙 の * 福 Þ 置 0 め は は、社 Q) 接 卼 ず、少 5 贬 ţ ř で r で るこ 心学 *[1]* E ある 3 は ~ 二八 認 經 的 接 1: め 有 \$ 會 0 ፘ 福 任 る Ø 止 '۲ 體 ح 濟 凋 的

らず り、又恐 Kant, Fichte 0) 0 τ 農業 ど U 相 b S L 15 Ŀ 0) 少 0) B る る で Ŧ ИŠ τ ح 的 方 禍 间 智 12 祉 b 增 と **云** 72 於 祉 12 E 爲に、然 ح τ 進 T 增 困 ኢ 居 ---世 い 致 **\$**5 £ 3 13 せ \$ ţ Ġ, U せ 如 3 る 3 如 3 3 to d 3 3 叉 b 3 ^ 0 0) る は で ح で、南 台 ^ 彼 b 9 ps. n そ 7 Ŀ. は 富 0) n 邈 Pigou 增 鰼 因 で 1 þ\$ τ 定 は、特 あ 減 1ch L る(pp. る 7 lζ j 居 区 Ž, 分 b 巡 脳 11-20) 劉の 洪 る b 失 は 更 を 程 9 Goethe, 場 K 17 则 顧 である(P. 废. 合 證 久 み 12 12 n ·d. 於 な L Schiller, 於 بح 全 Ę. ч T 並 英 7 體 兩 行

配 は 當 第十七卷 增 叉 直 は 接 滅 的 12 分 國 福 1 民 或 配 (二六三九) 所 は 又 は 財を は 得 何 趣動に (national dividend 12 通じ 由 T C 依て 增 間 滅 左 接に す 社會政策の原理 右 or 3 給 世 ds o national income) 付 5 Pigou n 世 6 る بح か 3 謂 玆 C ኢ 12 0) あ 视 3 的 で b あ 勤 來 る。 勞 經 る 濟 的 図 民 福 は 的 3 ŵŀ: 傳 配 ٤ は 來 當 國 は 0) 民 则 か 國 二九 毠 白 的 民 局 配 C

T 0 は、貨 で r 3 3 あ 家 33 さ、並 的 て、英 3 捌 L 奇 Ø 配 12 吉 2 τ 利 4 ح 己 所 6 して 肵 得 雅 حع 消 する み 有 稅 は 7 0 委員 居 0) 遂 V な K 3 家 n 3 ずる 屋 不 0 3 0 食 で 用 貨 2 物 酒 あ 自 12 行 n 食 E 例 3 CK る。 5 12 歸 丈 ^ 居 從 する 勞 **b**} 智 住 ひ、姑 の す 0 す で R す 0 5 Z 12 國 分 3 < 5 民 は、國 買 ጀ <u>ځ</u> ح 人 的 à 生 及 71 0 民 配 ۲ 蓬 CX Pigou 貨幣 依 所 當 ど 物 か τ 0 Ł. 0 其 受 は E 著 止 生 は 中 E 成 大な B 蓙 T 要素 Ŀ 自 成 Ţ, 物. 以 ζ F. る を賣 T ٤ 2 12 自 的 z る る 道: 分 刦 な 13 配 入 b 12 0) るに は 對 す ず Œ 肉 EO る 似て、 折 بح 戊 る 頮 力 7 形 野 賈

配 於 當 T 8 1 る 8 は 如 ٤ 何 Pigou 爸 21. 7 は る 0 是 日 12 1~(二)他 就 T Ξ 個 0 0 事 主 情 要 12 命 題 T ۳,

分 n 性 福 うっと。 之に 沙 E 的 ず 配 る増 107) t) C 加 む Z 3 代 12 價 G 72 腐 う、(三)他 L す R る 增 τ 所 旭 部 進 3 分 せ 0) 中 0) 事. 貧 Ħ 合 U 省 變性 1 S は、經 で 0 τ あ 減 6 湾 す 少 Ź 的 E 3 が、そ (四)他 腷 b n 進 0 0 lå 0 世 富 図 增 5 U 15 42 る L 配 で 恐 τ あ す す 0) b る

ず、自 民 12 生 智 的 第十七卷 齑 0 0 當 な る 12 せ (一次四 大 は 諛 たと 一見 $\overline{}$ U に基 た隣 自 τ 明 づ بح な 足 あ 0 が、追 G 的 b 3 理 τ 質 ば 0) 社會政策の 追 で 加 國 如 加 民 ば 勞 3 的 原理 し、文 配 祉 8 1 依 常 1-12 會 n 同 服 T 有 は 全 3 恐らく 員 す U 惹 4 起 か 3 次 は ۲ 法 る 勞 3 增 律 合 b 17 加 包 す 以 12 0) 云 不 る 7 (4) > は 或 で 足(不 m あ b 5 得 25 5 4 胍 快 <u>ځ</u> 八 る ~ は 制 脐 3 か 13 ت ع t J で 9 0) b 追 は あ

うと云 せず、又 と共に U る ふの 共 國尺 爲め、之に 1= Ţū 右 で ð 性 3. Z 增 0 (p. 47) 大 叉は 반 迫を め く云へば、人を \$ る 加 限 せ £ **b**. る L t 2 ح 北 42 原 欲 15 經 因 望 濟 は ع L 其 的 T 國 福 0 產 Ł 可 能 が 消 命 進 費 E ず 所 ¥ 增 る 得 進 以 0) Ŀ 반 (2 分 しめ、又是 る 勞働 配を で あ 郜 せ

で 同 12 其 τ 之を 義 滅 望を滿 相 時 第二 當 3 少す 對 0) 富 額 0) 不 ること 足 Þ す 會 5 4 12 3 生 33 E 12 U めることに 世 利 祉 ば、比 川遞減 沙 依 7 か τ 13 居 會 5 生 較 b 人 消 る B Ø) 滅 の ず 的 0 人 す で 依 る 緊 法 to 0 て、脳 る あ 切 則 4 Ŀ 3 3 足 13 12 原 لح 足 か 0) 5 か 基 G 5、此 か Ø ざる 因 づ は、皆 總 E 成 12 な 4 立 以 仌 V τ T つ ح 13 IJ T 0 3 增 V 0) 3 居 成 ል 加 る 女 事 足 分 す 足 6 13 質 は は 3 智 5 其 3 5 E B 凡 * 橃 は、此 τ 絕 亦 此 對 ٤. 12 0) 合 せ 結 結 額 論 論 12 で C かっ は不 は、直 色 5 \mathbf{V} 0 ٤ 助 生 所 る 層 謂 再 5 H ġ 等 £ 17 3 な 52-3)° か ·tijj Ŀ E v な 収 民 で Z 0 6 0

定 8 4} 3 L ے τ to 分 る」分 0) بح 13 す क्ष 3 τ B 0) 來 必 不 定 ح 12 す で n で は、社 は あ ίο tì 3 V 會 が、 恐 成員 し the 0 6 氣 mean < 禀 滿 足 E square 均 0 總 ---A deviation な 量 Ł る Ø 增 from 0 加 ٤

== X \$ Ω̈́. 9 富 t 0) 3 る τ 0 5 浴 17 Þ ረ 0 Z p: 0 12 老 <u>J</u>. 滅 7 17 0 少 1: ij 6 5 ğ 聖 H 3 性 3 0) 0) 望 進 聖 丈 3 まし 增 H せ で Λ 時 つ 1 あ 點 7 て、以 居 2 め 濟 3 0) 不 8 的 る 12 所 desiredness の差 變の消 幾年 場合に τ. 於 得 貧 v 不 答 者 は る 45 0 目 0 恐 は 12 纷 X 其 \mathbf{x} 減 6 H 0) かゞ 3 退 消 滅 得 9 0) 小 洪 j. 0) τ 华 0 少 な 2[5 P は 示 炒 å 等 n 均 す 大 經 不. は 鬳 3 Č 性 4 者 は Ł 誻 及 的 な は、其 X ろ C 年 び 17 3 で 12 VC 5 Ħ 要 r E 0 3 n 5 2 の す 大 ps. 消 は、 Ġ. ţ T 不 進 n 3 併 費 ば、上 65)° る 均 せ 個人 v こと し (x+h) ts L に 0 3 il U 13 か 配

從

第十號

可 的 12 は、富 0 他 爲 0 め 者 事 叉 B T 3 の消 は、一貧 d) らで 費上 ある 17 於 H Ô 4 67) 同 貧 等 者 0) 絕 0 劉 ---集 的 刨 刵 變 0 性 消 ֈ 費 の絶 9 b 經 對

Ŀ 限 双 1: 界 ş, τ मा 上 利 變 記 ぺ É T n 性 0 全 此 ઇ 3 0) 17 較 0 的 で で 自 0 重 B は 用 あ 17 13 0) る 共 0 לי 學 253 す 四 當 說 3 題 否 多 0 命 命 な 基 其 味 題 Ħ. 礎と は、常 價 6 あ 0 0 3 値 2, 谷 關係 3 12 \$ 12 3 E 他 は は、此 τ B W. のニ 甚だ U. 果 Pigou证 T 0) で、普 檢 L pq す 7 命 12 通經 如 6 題 n 變 12 之を ば、そ 何 四 化 し 13 命 濟 0 T る 認 n 題 魯 (1) 批 # は 世 民 何 0) 兆 3" 所 U 最 者 为 n 3 7 7 後 8 事 質 利 ß 0) r 5 n 際 B b 用 條 3 0) T 遞 0) 分 沚 が 解 かである 滅 ٤ 配 會 鵹 15 法 U 及 際 困 则 7 び

Pigou 諸 25 要 爲 素 め は 25 12 國 第 樣 民 二、第 4 所 なる 得 三、第 0) 場 25. 所 114 均 部 8 量 通 職 E 計 業 增 ٤ Ŧì. :加 0 百 # 七 13 + C 如 七 ~ 頁 3 1 智 原 費 因 Ŀ 世 τ ず 3 る z)s 事 7 先 12 Į. づ 最 'n; 來 B 最 る I b B を 0 國 措 民 は U 的 生 T

Pigou B 间 Ø) 引 12 配 \$ 0 は 此 依 分 £ るとき T 12 0) せ f. つ 3 Ŀ 額 D G 會 T 大 る。 法 が (marginal trade net 0) は 13 は 5 3 て、若 極 3 ਣ n を め 7. は(二)個 τ ے ع 促 太 制 17 0 Ut 密 す」と ¥ を 依 泚 は 主 人的 product) 及 認 13 て、こ ず 曾 本 第 る。別 寸 V L 4 0) し 0) 二と一致 限 3 て、却 7. L 配會政策の原理 XL CX 界 語を以 どころ 妨 Adam 值 び(三)祉 純 7 **(*** 中 如 産 阻 3 ば 自 行 は L であ 額 7 Smith 辔 0 特 は 7 ifi 曾 面 政 Ļ 殊 15 (marginal individual あ 的 L す 0 其 策 0 此 300 12 1 限界純產 C 72 n 0) 土 は、何 企業 12 兒 其 第二が ば、極 斷 地 بح 丽 粢 n 12 で め L は 勞 b 投 あ 自 第 額 7 T 8 炒 2 T 三と一致す 學 3 S ₹ net لح (marginal social net 最 心 此 究 0) 0 具 る b 大 0) 淵 product). 0) (Y) べ な 發 0) な 多 當 3 O) 資 は \mathscr{E} (三) 戲 る 特 否 或 بح 本 0 Ħ 3 15 14 £, は 山 product 業 著 则 大 台 12 6 的 L す ど **\$** 部 r jik 5 自

第十號

競 公 心 邻 1. ż す 3 3 3 Ŧ ff 12 E 5 有 2 あ õ 2 0 ح す で E 圣 あ 能 認 30 で ム限 め 7 Sys b す 居 3 3 彼 大 3 0 n な 併 5 1. は 第 L し 此 间 B から 3 1-Þ 此 合 5 第十號 以 17. ጀ 15 於 生 •---H 致 產 12 せず、第 3 ,要 於 國家 \mathcal{T} 0 は 0

あ 3 Т. 接 13 D 4 ه...ه 1: 5 形 產 産 3 於 23 派 的 物 桨 ば す V \mathcal{C}° 會 效 0 1-Ŀ. る 果 增 す 記 投 队 Q) 3 £ 量 Ξ 小 界 火粉 如 種 0) 8 6 總 其 縋 ζ. n 0) 淀 産 和 資 0) 限 72 盆 義 額 法 寫 Ċ 界 は す 23 0 あ 純 産 均 必 N 12 價 投 る 資 蓬 沿 ば 値 小小 源 in 3 道 玆 5 productive は 6 產 は 12 0) 淼 3 如 業 如 L 此 林 所 何 1 gr. 12 謂 D: ح 13 13 3 1: 山 resources) 3 8 移 3 3 r 接 12 ds 助 配 經 る 0 W Ø 分 3 0) 濟 效 T T 0) 費 法 的 縖 果 該 最 あ O産 用 衚 0) 0) 產 終 3 資 F 站 限 疋 業 ----Z) 源 13 1-0 E 例 以 於 0) 貨 は Ş 增 流 H T 4 按 12 量 會 る 分 加 價 11 ず 於 仁·的 J F 依 7 n 限 h は Т. E あ 13. 生 τ 界 6 假 る 鐵 生 ず 純 國 i. 3. 道 3 -\$*: 流 民 0) Mi 機 る 額 ,ø النا で 直と L 鑵 接

13 办; 3 は F 當 均 7 產 大 Z 3 る 2 爽 ___ 1 5 大 17 7 で li 13 あ 小 で 6 す は 2 T 13 產 τ す あ 3 次. Z ť 8 か 44 n 配 3 额 0) ~ ば人 (J) 出 會 ع 意 τ 0) 3 ح 來 Ľ は 的 ġ あ 味 意 7 豫期 ح は 3 13 純 3 す 味 149) ح を 常 產 B ~ る す か 努 12 勿 きじ n す 併 額 3 3 此 0) T 論 べ 4 Ħ 3 3 な で 產 T は、こ 齑 的 あ か 業 v τ は 3 限 あ 業に ら)職 不 寄 3 間 は 8 (pp. (pp. n بح 局 題 蚁 純 於 ٤ 業 な 者 149-150) は 0) 0) 民 産 114-117)0 V 的 3 则 0) 所 産 賣 額 產 業 3 限 用 白 利 業 得 ح 界 的 投 途 で 害 0) 17 職 は 限 資 純 智 Ż あ 加 業 界 產 藥 3 感ず 0) 1 的 3 ^ 額 心: 7 純 當 12 限 逩 會 は 故 る 3 b n 界 生 額 均 此 的 1 0 者 0) 純 產 12 8 8 ----各 は 4 産 資 0) る 全 1 北 から 的 は 額 寄 源 歸 有 か 行 盆 ----與 8 0) す 致 利 自 爲 12 者 0 産 3 な 利 0 加 額 傾 3 る 腻 心 ^ b で אָלָּיִל 業 12 川 か 業 0) あ 生 13

六四七) 論

3

ば

的

產

2

業

齑

額

لح

は

致

す

る

1

な

v

1

٤

云

^

は、獨

Ŀ

Ø

八

例 4 C 23 技 第 12 12 ^ 國 O) 1 す =; ---相 民 梦 合 下 る X 位 者 1 Ŀ 0) 當 的 12 ----0 報 C 置 A 定 す **Pic** 還 D 宜 酬 35 3 \$ 及 を 第 利 13 は 3; 3 提 C 盆 0) 4 E 投 Ġ 供 E E 0) T E 大 資 n τ 得 12 す 如 4 13 者 或 な 3 \mathbf{B} 何 め 3 V あ 1-5 3 便 0 次 3 n τ 2 τ ج 燈 宜 支 3 は Ø す 自 す Ġ 憂 义 法 8 孩 共 p; る る 150-151) は 0 规 鵬 太 から 改 5 改 其 競 利 損 償 報 E 出 良 VQ. 良 所 爭 益 r 害 設 酬 來 0 場 有 12 を 0 状のを E 1-< 爲 な 合 依 渚 受 與 め 對 ~ め 0 V T T は H る ^ 3 0) 1: 如 的 13 4 n 3 3 ያን 70 1 É 產 12 3 B 3 23 0) あ 用 25 力 τ n 0) b 質 る y Z 0 ---は. 際 定 劵 投 ば n 增 T H 港 此 來 E 其 U で 進 年 稅 12 題 應 `3 12 あ ¥ T * ح Z אל מ 7 3 3 人 7 課 Z 义 旭 **±** E Ę か 3 th. 太 は 3 る 土 地 0 土 0 6 0) 7 12 は 圳 T は 地 n 害 で 合 其 11 0 其 b す ^ 21 C 12 あ は す 改 儬 3 船 剉 3 生 3 再. 耐 良 良 15 0) 舶 る し 15 产 Jţ CK を 過 人 啊 0) τ 第 主 依 3. 的 源

型を 2 第 33 Ξ 報 め τ 女 契 所 12 生 0) 0 で ti 約 ò 12 有 又 涔 \$ 殊 健 3 は 13 世 る Ž. 0) 炒 7 h 產 ベ 17 額 حح 者 小 で から 3 前 大 會 V と 3 0 な は から 害 產 的 太 V 來 E (.) ---r から 曾 33 0 0 Ą. 10 産 如 如 1-7 生 す 5 0) £ 3 3 あ 3 0 fl H 3 は か 限 3 1/2 \$ **V**2 足 ح 2 3 ç. 投 又 叉 足 0) I す ع 業 n Ŀ は 小 17 は 8 台 場 0) 的 で 0 獎 5 は で 不 如 勞 あ n あ ^ 此 3 ģ 見 產 而 る。 E た 0 足 75 は 發 資 から 其 加 新 4 3. 刑 明 8) 7 源 15 伴 發 自 7 嫦 及 賣 0 此 0) 1 3 明 動 0 T ば 2 特 利 人 祉 7 **%** 以 車 受 1. 80 8 益 必 會 如 前 0 而 r 法 r 要 的 \$ 12 定 る 合 は 限 8 は 於 1 0) Ž V 3 其 7 23 此 足 る 産 ----は 粲 潚 12 0 益 合 ح 例 3 足 で * 或 0) 於 * ·C 大 は 不 世 办 7 認 臘 **b**. 0) 滿 消 る す る 3 度 發 °(pp. め 業 3 12 足 費 لح 迄 U 見 7 共 的 快 る 13 遑 同 發 者 同 居 限 此 と、「最 159-163) 者 E 對 時 11)] カジ 時 發 る。 () は 戚 12 L 1 な 15 者 则 如 産 忧 依 T 其 新 是 6 0)

號

三九

號

亦 獎 共 方 闖 法 E 12 る à 方法 智 失 は 0) n 最 0 B で 明 ある。 白 なる b (pp. 168-171) Ø は、課 稅 չ 裥 助 金 لح で あ る 73 直 接 0 强 制

0) 量 産 業 £ 0) 旕 ۲. 以 25 的 資 3 13 **Q**) Ŀ 增 源 で 限 3 ع 诚 (Pigou あ つ 0 收 す 行 3 3 あ 0) K 此 以 3 3 0 共 所 說 F で 增 謂 盆 则 1. で 遞 合 滅 降 resources は る 3 12 稍 12 b 滅 人 17 1. は W 0) 收 的 4 法 U 煩 找 盆 限 ٤ 0 · • は 資 遞 界 则 τ ,一 3 大 最 23 0) 減 收 1. 體 益は 增 В 冝 法 す 資 用 量 經 る 则 る 0) 本 が、其 齊 す ح 0) 收 0) 致 0) 共 的 行 8 盆 は 4 意義 12 な ጀ 大 遞 收 から č 要 經 增 益 p: 12 E ろ 產 營 Ø) 3 不 1 0 其 で 組 業 ع 法 v 變 ع 0 12 織 は ^ 2 則 0) す τ ば Z 投 D3 3 法 0) 資 3 業 差支 造 n F で 行 則 考 2 的 產 3 は \$ は 0 限 論 か is 減 5 n 業 其 行 6 3 12 3 少 以 B は 純 Þ す \$ 1 n لح る 更 産 5 300 資源 Ġ Ą. 71 る حح 額 12 で 收 6 Ł 3 Ĉ 1. あ 各 盆 n 3 ٣ T 3 3 單 遞 た حح は 7 0

する。 江 資 分 12 T 72 0) 者 0 收 to. 0 此 9 义 は 資 0) 12 13 投 は 0) 資 E 業 0) É 合 す 量 的 (一六五 て 1: $\widecheck{\mathscr{C}}$ 追 3 17 限 4 生 齑 得 11 0) 加 かっ 伙 界 こ じ 業 12 G 3 つ 純 た 依 (D) 12 7 收益 て、産 過 產 0) 3 遞 9) 1/1 業 L 的 價 ۲, 4 全 0) 不 T 組 2 It 社會政策の原理 產 鹘 法 は、投 接 1: は 则 は £ 0 加 0 ----萬 遊 あ Z 收 結 企 資 產 派 9 位 9 盆 は 業 者 論 は 額 界 織 .72 額 12 收 14 \$ 0) 0 は 純 3 8 單 生 遞 间 收 增 少 二分 產 **%** 增 位 け す 遞 加 是 純 Ø) 5 12 0) 6 率 滅 3 3 或 叉 Ţ. 13 を 法 0) 14 め Ç 產 生 ð 12 は 1 で 盆 下 滅 3 投 ば ず 額 流 遞 E あ 各 1: 炒 其 F 滅 は る 均 12 n 單 U な ---場 此 せ 率 0) 位 1 ---5 合 9 各 Įζ 4 12 8 3 1-0) は 最 冷 谷 12 位 超 及 施 Þ で 合 罪 更 位 分 13 過 τ 8 0) 切 位 d) せ 此 111 n T 定 る。 產 p's 追 13 12 資 位 蓬 出 成 加 3 0) 合 12 源 立 出 E 0) L 3 20%

第十

IE: 大 數 額 加 3 的 b は 13 17. 办 限 ~; らう 13 b H 何 3 H 界 爭 12 い 接 小 數 等 遊 產 0 築 で 3 的 0 ል 額 下 產 あ 4 間 閒 0 Ø は B ح 1-3 接 で 接 で は ----於 は (161-061 'dd)_o 純 E 收 純 あ 純 あ 殆 T 産 生. 產 盆 る。 3 產 E 0) 物 物 亦 齑 物 T 3 8 收 資 E 業 あ 0 益 生 生 盆 0) 者 0 B 然 從 3 遞 U 不 ---12 0 る か 9 3 滅 な 般 τ 12 0 0) V 0 的 7 は 0) 職 自 從 F 條 條 紅 收 必 0 純 所 業 業 12 2 件 從 織 め 合 有 的 生 的 心 7 0 0 0) 6 かぎ 的 者 限 限 產 (1) 下 τ 下 繸 n Ŀ 14 は 界 E 業 15 化 12 3 小 此 純 動 純 行 的 生 業 生 純 # 產 產 1-限 產 \$ 的 產 72 3 麄 6 額 額 依 產 界 10 限 E 爲 12 は C は 業 純 行 行 從 過 め 걛. 25. 個 產 1 £ Z 13 3 9 均 均 额 產 産 產 生 7 87 沓 世 し 的 7 は 業 業 U C から ţ 産 限 は 個 12 12 は 75 投 あ 從 5 界 資 人 於 間 業 資 5 b 9 E 純 源 的 τ 7 接 12 全 で ĩ 女 產 0 服 は 的 は、 於 純 純 額 收 增 界 額 資 限 資 産 產 け 12 令 純 界 量 源 源 額 額 る 對 る 世 h は 產 0 純 0 0 ع 1 す

す は 課 r ~ 稅 L 補 ح Jt. 0) 金 Ser. 其 諭 方 E 0) 法 生 方 12 4 依 法 會 τ 12 3 收 0) C C 7 あ 盆 3 減 8 遞 法 ō 增 刑 C 法 193) 0) 则 ح 0 作 用 3 す 產 す 業 る 產 12 業 丽 12 す 對 T 笡 す 際 3 搜 0 方 任 策 資 は 資 7 F 國 獎 E L 民 勵 1. 阻 Fif

ば 1-3 國 决 し 此 쏽 は 民 0 12 5 Pigcu 果 所 特 0 0) 生 十七七 得 は 12 n は し 色 產 業 7 0 0) 紁 12 **%** 彼 別 b 增 叨 密 資 結 ८ 0 源 す 論 大 12 周 六五三) 迂 玆 13 0) 0 12 到 3 爲 配 3 は 12 17 3 煩 素 何 め 論 と 瑣 K 7 12 ょ は 0 長 E 稍 15 且 關 b 3 9 す 肯 る 知 配會政策の原 な 13 要 前 す \$ 3 3 å 後 E る 0 3 か 生 12 上 八 並 ح 齑 + प्ट で 12 54 E 資 から 數 露 6 あ 抽 30 呈 源 す 得 出 級 頁 E 13 悉 0) 的 1 す 其 · 郊E 述 分 V ` 3 自 15 亘 作 配 必 利 3 る 彼 要 to 論 推 n 8 2 齎 0 究 0 は đ. 此 6 自 r あ 批 經 0 る す 由 3 特 評 濟 爲 で 發 Ø Pigou 1-學 to 稍 め あ U) 動 42 が 5 到 E は K 質 す Ź 特 邌 は 詳 際 3 な 有 か か 的 C (1) b 6. Č. W. 必 ح X 當 推 紹 Ξ 买 ^ め 6, 15

邲 3 0 * 3 3 r B な 存 0 で H n n .3 あ ば 5 海 な 剖 理 家 T 殆 猶 3 H L 利 彼 ч 用 Ø 0) 遞 如 滅 \$ 收 \$2 周 添 0) 到 緻 不 卓 變遞 越 密 0 女 增 論 る 遞 究 技 滅 倆 Ŀ のニョ 進 12 對 め 3 U 法 C 17 刑 は 當 尤 1. 9 過当 分 7 29 彼 O)

13. 7 的 ١į١ Y 7 0) 1. 親 居 7: 對 涉 3 4 す 0) 15 0 ح (1) は る ۲ 12 國 す 人 25 0 的 Z 如 ば 3 出 3 0 嚈 < Ŧ B 來 (pp. n 図 業 な 無 lt 其 0) 涉 的 197-210) 辔 で 艨 0) 4 は 及 な 4 あ 價 國 爭 CK るこ 經 0) 格 3 民 祉 湾 原 13 煞 所 曾 12 ٤ 的 產 因 不 的 12 10 2 業 r か 純 因 公 率 收 公 3 共 0) 營 15 W B る 迫 H 0) t, 0) 8 1 可 ح 0) 不 體 **%**: 於 否 懸 で < 0 ----念 生 بح 致 競 C 1 公 ğ 爭 産. 12 Pigou 的 Ł 對 to C ·~ 企 業 は 3 價 p; す 充 は بح 3 to 分 13 場 12 L 以 式 新 對 0) 12 外 Ħ. 會 奇 21 す 17 સ્ 曲 於 12 τ 其 企 太 7 業 道 すい あ 久 3 0) は 叉 自 لح 2 ~ \$ 大 は と 曲 見 13 戰

351)° 3 ۲ る」か そ 要 Ŀ 素 3 2 Ξ 0 3 t 12 殆 3 公 首 規 公 3 率 ~ 3 ģ 高 存 353)° 少; b 知 F. 都 る 3 n 10 3 で ~ ifi から 33 3 於 0 ع \$ 地 地 12 3 τ 3 3 合 は、実 越 Ģ 域 3 自 347)° 1 方 は ۲ 例 動 經 都 略 於 (I Va 绺 ili 13 τ 曾 0 地 失 Ó 第 致 规 彼 0) 企 私 此 模 1 亳 7 於 9 沙 12. 利 會 B 居 經 ģ T 於 遙 12 水 軒 濟 1 公 0) 1 輊 道 0) 1 上 li 疋 す 12 最 监 機 望 其 斯 1, 有 12 大 關 p 3 سح 後 然 利 公 加 樣 電 ځ 13 な ت Þ 力 3 私 9 供 規 ろ 0) 企 12 τ は ζ. 模 な 晁 訓. ዾ 層 12 V 13 17 4 劣 强 3 ----(pp. 致 17 私 b 最 投 7 世 作 350 企 適 3" 機 川 業

7 的 3 限 15 純 3 體 V 收 0 占 め 0) 的 3 淵 は 企 b 業 12 に(或 あ 大 買 な 收 5 は 3 0) 12 主 就 で لح ٤ 7 . پ は は 3 13 $\underbrace{\tau}_{\cdot\cdot}$ 170 13 Pigou 投 忧 0) は は、 3 人 必 民 生 L 産 ps ð ζ 資 他 其 8 13 源 買 0) な 部 收 KÇ, 抑 6 0) 價 制 A L 格 民 (K L 0 7 從 12 高 そ 徵 つ 3 τ 0) 寘 8 E 會 課 n

曾政策の原理

2 分 全 0) 1: Ŀ で 縮 金 少 る を支排 せし て國を ġ to 358) は 3 2 す 42 3 ば なら 17 あ る。 で r) と云 あっ 此 て、是 Z 0) 串 獨 r 質 占 は 的 敢 T す 策 此 8 事 除 E 12 す 妨 沚: げ る は、生 曾 る 0 ----滩 0 E で 增 分 は から 次 大 他 ¥ V 0)

(IA-II ど る 3 y 3 又 賃 俟 國 銀 は 章 3 12 民 9 E ζ 13 1: 的 亘っ 3 3 0 8 5 配當 ح B 8 E Pigou 臒 T 0) で ようと の 論じ、其 0 增 b 天 は産 大 と B T 赋 30 する જ 50 居 B 能 る。 Ø 業 Ž 高 力 必 か 8 的 3 銀 B ど修業 0) 0) 注 見 し 平 率 ず、低 種 所 と、既 Å 目 和 赸 12 酮 演 す 70 對 ٤ あ か 公 ~ 理 12 持 5 す Ł IE. 3 B 3 12 0 视 る なる 3 Æ 必要と は 稚 方 7 第三者の 2 不 3 法 に 產 (fair) 賃銀 賃 公 0 し 12 業 Æ 銀 す 賃 T る 率 15 質 で 率 銀 3 仲 平 Ŧ とは、其 勞働 際 は 0 る 率 裁 和 涉 界 あ b に 和 0) と、 C 13 Ø 對 0 解 被 35 あ 困 8 對 す 事 0). 棑 % (p.505)° 江 難、不 高 n L 3 質 0 て、他 は 場 B Ŧ E 果 肝 1. 快 ļ 涉 E 迂 要 公 5 其 0) 0) Ħî. 0) 遼 次 IE. 8 其 程 效 竃 な る 業 處 膄 業 す (unfair) Pt. 果 2 る を 17 Ċ b 12 ٤ 人 H 不 同 B 關 10 は chs. 5 な 公 T 0) \$ 渝 あ

5 3 る 1: 不 13 對 勞 は 办; る 於 r す 0 る 配 多 其 がそ 2 H 0 8 bs 場 は ķ٦ 0) る 干 分 限 國 (pp.509-511)° 0) (一六五七) 芝 事 涉 は から 13 5 的 0 t} 0) Z 產 果 民 配 效 業 る ፌ 額 當 1: L と 果 0 的 5 V) 次 τ 多 Č は 配 72 n 25 價 する 12 行 3 ---分 當 そ 原 r 艞 搾 は 配 E 與 n 勞 世 取 n 12 p; T 33 社會政策の原理 は云 る 13 す 妨 3 H 爲 依 0 め カコ げ べき 3 め 3 否 5 つ ^ 42 B 7 な れる p; 入 か 理 此 b 2 0) は あ 6 想 0 は、努 鍛 E 銀 勞 zi. る te 妨 不 的 3 其干 け 郊 13 p; 13 公 が 5 7 雇 B 爲 Æ 0 分 不 0 T ば、そ 8 不 涉 Ø 阳己 な 產 1-公 12 方 12 法 4 3 Œ n 配 於 Œ 法 <u>--</u>-\$. n 賃 な 賃 12 る E 1. 處 H E 0) は 銀 0 銀 る 篮 15 國 率 ---T 率 移 3 v 民 る 何 あ か r 0) 動 ч る 業 不 る(pp. 引 的 12 躗 Ţ 0 B 现 収 r 山 阳已 1-1 あ Œ 沙 於 其 (當 Æ 508-9,° せ 3 用 か 定 0) げ 8 12 V L な Q) 威 は * 低 る 8) ģ 大せ 3 ば、之 う る 過 め 現 4 7 ち る Č x 引 1: 蝪 P

12 (pp. 75 间 7. 发 產 B 1)3 及 者 E , Z' す 516-519)° 公正 襺 ぼ で 烫 3 勞 Ó だと なさ す 镞 17 0) 大 汐 效 あ 啡 નુક は 齑 Z 得 果 3 B 17 ኢ 以 3 τ は 4 かっ 3 E G て 比 3 Т, 3 n E 限 る 5 で 其 蓙 7 538-9)° ٤ Æ. h 0) で 14 烝 \mathcal{C} 以 賃銀 1, 技 な 限 あ 旣 C 3 5 ኤ は 3 12 あ の公公 る 純 ŋ 訓. 賃 Z) 公 此 收 S は ح 汰 改 缎 ìE. 見 17 正は 直 3; र्राष्ट्रे 國 云 段 13 解 民 時に 0 14 5 ዹ 3 め 的 1. に言公 る 直 炒 B 17 賃 वि 図 Pic 12 道 0) 5 鈒 民 之を 12 當 主 理 限 Œ \mathscr{C} か 0) 4 所 り 之 界 勞 E r 6 0) 引 C 15 得 意 純 U あ 上 對 で 0) げ B) 產 Ø 1-す E 3 額 13 大 は 0 る か 5 ۲ •---• 干 Ġ 賃 游 致 Di 8 τ Į. 0) で 艺 Þ ح 0) 7. 引 ح T یے 求 謂 金 Ø) す か る \$ E E 最 3 叉 1= べ 3 ል B 搾 此 は b 0) 交 D) 民 依 合 12 其 當 で 附 理 3 と. C 1: 條 民 す E 前 貨 配 あ す は E 的 Ш 件 1. 得 銀 る 當 る 1-12 所

7 8 と 賃 於 者 E 能 强 v 12 V É て生 對 す 8 ģ 活 3 t 545) 標 反 5 獲 M بح E す 度 で 3 外 高 事 寸 Ø 1. n 對 ば 5 1 公 X 3 す Œ 反 賃 る 對 銀 Ŧ ŦŢ ps 渺 曲 生 は بح 活 必 13 ず 賃 る 銀 國 ~ 民 以 \$ 的 F 缯 配 1 Ġ 當 あ あ Ł る る 傷 産 け 故 3 17 1: る 於 日

τ 覢 図 民 کے 的 3 配 當 35 增 出 大 來 Ø Þ 見 j_o 地 かっ 5 見 72 賃 銀 率 1-す 3 Pigou 0) 見 解 は 略 ぼ 上 記 12 川

うと云 T 因 經 ----3; 配 濟 削 第十七 署 斥し 的 12 は し 14 Pigou 9 भूद 相 ч. 貧 T 者 居 背 多 (一六五九) ≾ は 膼 る。 に歸 增 他 ch. す 的 進 (1) る 闢 阳 此 少 哥. 8. の二命 する 當 L Ø 全 矿 で 割 额 11 は * 0 合 で て 原 な 0 減 12 因 6.7 少 增 5 う と 12 ٤ 少 加 b 就 8 は 7 3 太 ţ 起 恐 Z 國 る Ġ ひ、次 る 其 ば Pareto 效 ۲ 疑 < 民 果 で「他 ٤ 經 間 的 はな 如 0 は 濟 配 解 斷 貧 的 0 剖 定 V 者 福 事 所 し r かっ 施 0 T 據 何 得 E 12 0 5 根 分 大 4) 泒 8 ~ z 0) 弱 で 增 判 な あ 加 增 定 る Ś 步 加 Ŀ し g 3 は 下し Pigou U 0) ば 恐 で ح る あ 國 5 T は 原 6 民

鼢

社質政策の原理

る は v τ と全 的 相 を II. る ば 配 3 21 な 當 لح E 13 12 0) 刑 p; 進 Ŀ Ġ 窓 收 增 命 する SQ. せ 爭 盆遞 題 p 大 位 の真 12 に富 5 ¥ 者 ど論 める)ことを根 てどを 當 ره 在る。 龙 0) し 位 所 E b 法 める。 結 が即 見え 少な (1) を増 所 得 す 報 12 い。 る。 5 然ら 酬 る ざる あ 出 併 を減 加 以 3 Ø 發 (完全 ġ 働量 し. 上 世 で ば 滅 然る す 724) 少せ し あ 切 ح 勞 少 3 すべ ľ 働量 要素 اد 記 % (pp. 711-713)° して、勞働 0 3 增 Pigou 0) る くこ żś 加 め 命 は 3 ること は 0) 題 9 量 Ü M 資 は め 0) か 大體 8 あ 0 本 5 結 15 3 云 全 0) 果 る る は 义 か 加 42 ^ 發 必 要 協働 6 は ば 何 ΪΪ 積 を 此 **C** 勞 E 5 で 勞 改 0 二者 か。 者 は 働 當 大 者 於 b 0 な () から ps 位 T ... 12 勞 Ø は 0) い 置 相 所 7 所 加 民 背 勞 す 1-切 膼 3 す 随 あ 生 E る Ŀ は n つて、 じ 產 滅 とこ 滅 增 智 要 ts 0) 對 加 少 11 增

く)ぞ 汝; 如 者 3 貧 3 n 1. 17 \$ 0) 民 が、Pigou は 者 0 差 る 3; は 行 富 的 0) U 0 ح ŲĻ 别 者 为3 は 0) 配 移 1 得 的に 部 が之を受くる n 所 轉の 分 B Ġ 的 1: ど 之を論ずるに、更に問題 \$ n ば 配 に依て張制的に E 及 を 事 國 る 3 他に移 II. 割 民 質 場合 爸 民 人共者 す結 いて、何 的 配 H ば(貯 0 12 कु 0 當 は、補 獥 τ 3 ح 等 如 國 全 (pp. 760)° 絹 蓄 期 r ٤ 何、貧 民的 か 社會政策の原 果 は、若 行 增 金 O) £) ح **%** から 岩 は 者 汀 配當 0) 遊 貨 許 43 L 法 L 11 ^ 背 を分 <u>ئ</u>ر 其 任: に達せ L 0) E 馳 12 **又**,は 移 ば 意 t 及 以 12 のて、富者 之を 不 る 的 鹎 關 T 直 \$, に行 Z 0 す す Ė 者 る 豫 かゞ 懶 r 3 貨 1: b あ は 期 者 貧 最 果 t 有 幣 0 0) る 不 n 者に 如 b þ し、懶 1: 利 國民 12 儉 る 1 重 何 0) 換へ は で 者 ば、富 服 を究 要 1. 的 ふる 0) 喞 少收 不 不 不 配 Ø) 0) 利 ~ 嗇 題 事 ようとし 豫 É 党 Ţ 13. ある(pp. 751)° 1 0) は、比 期 者 るや 1 と云ふが如 對 結 (expectation) 有 0) な 的 果 す で與 利 うに選 V 活 7 る 如 な 動 船 居 何 富 5 E る 果 る で

^ 0 5 n 3 國 5 民 で V 場合 E 減少 貧者 12 g. は 0) 世 反 買ふ 對 U 0) ~° 3 加 結 果 h pi b 9 0 得 で 0 30 あ 0 合 公 72 12 場合 園 は 衛 贝 には、右 生 53 設 備 ح ~

23: 6 と हे D's بح 生 資 لح 13 0 後 \$ 本 3 V 相 12 3 べ 遊 富 E はそ 資 0 0 13 3 z S 滅 5 行 12 す τ 大 る 必 3 で 利 n 0 0 用 な Ġ T. 1/2 B 少 か 云 あ < 2 る。 n ^ T 3 12 全 る 場 5 Œ 们 0) で 合 着す と、貧者 あ 邌 窩 分 資 3 萝 は 3 か 資 る 富 カコ 42 ع ح 依 b S 即 15 云 7 0 で 1 徵 5 3 1 す 12 ~ な 7 る 資 V 消 p 0 費 E 0 0 ^ 0 其 行 0 處 0) は 搜 T n は、移 Ø n 者 資 4 ح る に す 5 で ኟ 0) 依 云ふ n あ を 投資」 て生 は、必 5 **%** る S は 5 資 3 め ベ

5 不 炒 h Ŀ ሯ 後 \$ Di 0 及 12 四己 的 る CK 所 3 配 8 方 E \$ Ł E ح 3 所 民 げ 訓 L 降 的 大 C 評 宜 る 52 3 4 II! 智 E 業 當 Pigou 加 田 0) 促 祉 8 ^ 办 會 0 ч. 鱁 0) 3 居る。 性 づ 智 Z, \$ 6 理 0) 0 る て、彼 題下 3 ج ت 0) ح 諸 果が 0 す 倾 12 n ģ 向を τ 買 3 は Pigou IJ 脐 此 ある 智 韻 17 鼎 9) 安 13 から Ç 定 る 7 謂 處 渚 な E 居 原 で 5 促 3 因と 浉 老 需 1: あ 0 譋 る 7 る。 補 經濟 ४ 7 景 助 者 す لح 因 此 物 (pp. 敎 保 的 3 ح 育 0) 7745) 險 脳 穫 恐慌 營 Fisher 劜 K τ. 0 養 幒 0 は

0) 以 1: 影を は Economics 傅 ふる 12 of b Welfare 足ら Ø F) **%** Pigou 0 0 經 的 福 15 劜 1-觀 0) 3 大 13 略 8 其 (1) 諭 で、固 究 0 t 方 法 此 Z 大

3 P ふこ ら う 時に、物と物(貨幣な る。 Z ረ ÌZ 0) 叉其 بح Adam Smith ことで で 111 مبد あらう。 評者の ある 1. **)** 0) ると から て居 印象を 國 す Pigou 3 から 富を 4 0 14 (or what は 受け 3 0 d' 論 生 0 5,2 產物 貿 事 L る comes に當 むところ 必 福祉で は 周 ö 要に J. 11 2 到 Pigou the て「國 る .Γ. かる な 7 で same 苁 13 4 あ 0 ず 尺 して 土地 thing)共 度と 0) 3 O) る て、社 とに なすに 國 ٤ 曾 勞働 價 全 **(**D) T 生 格 额 體 は

Proudhon 6 は 未 ば、必ず右 だ ど

こ

ろ 大なる 準を先づ求め 所謂 記 佊 使用價値と交換價値との二律 0) 綻を示 ઢ 難 更に敷歩を 問 に逢着 して v 반 進め G 2, Ŋ るを得 C が、厳密 遍的な、人對自然の關係に於て常に成立する に推 であ 背 反を解決して居 6 5 ° 大成し 福祉經濟 Pigou の立論 ようとする 學 0 13 · 0) 本 ものは 方法 Pigou 文 で は 步 め 7